

第4学年 外国語活動 学習指導案

令和2年12月10日(木) 5校時

第4学年2組 計32名

男子17名 女子15名

指導者 新屋 理沙(T1)

Ricardo Cirilo Amorea Mercado(T2)

研究主題 「Let's try communication more!」～児童が主体的に取り組む外国語教育の創造～

目指す児童像

身近な表現や言葉に慣れ親しみ、自らコミュニケーションを楽しむ子ども

1 単元名 「Do you have a pen?」(Let's Try! 2) 「おすすめの文房具セットをつくろう」

2 単元の目標

(1) 知識・技能

文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。

(2) 思考力、判断力、表現力

文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

(3) 学びに向かう力・人間性

相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合うことができる。

3 評価規準

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
評価規準	文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。	文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。	相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとしている。

4 単元について

4年生後半となり、基本的な表現に慣れ親しみコミュニケーションを図る体験を積み重ねてきている。それを踏まえ本単元では、日頃から使っている文房具の言い方や欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しみ、自分の欲しい文房具を買う活動を設定した。また、定型会話表現以外の表現「すみません。」「売り切れです。」「はい、どうぞ。」「いいね。」などの学習を加えることで、定型表現に対して自分の気持ちやつぶやきを少しずつ表現することができるように積み重ねていく。そうすることで、コミュニケーション活動の活性化を図り英会話の楽しさを実感してほしいと考えている。

必然性のある活動として、グループでお店に文房具を買いに行く活動を設定した。自分がほしい文房具を聞き出し、色や個数を伝える活動が、児童の想像力をかきたて、自由な発想を大切にしながら慣れ親しんだ表現を扱う場面設定とした。児童には、「あれも言ってみよう。」「これってなんて言うのだろう。」と児童の発想を大切にするため、単語量も豊富に用意する必要がある。言葉やジェスチャーで人と関わりコミュニケーションする楽しさを感じさせると共に、店員さんとのやりとりをしっかりと考えさせたり、聞かせたりして、その後の活動に繋がるようにしたい。

5 主な表現・語彙

【表現】

A : Excuse me.

B : Yes?

A : Do you have a red pen?

B : Yes, I do. / No, I don't.

A : Oh, nice! / Oh, good!

B : Sorry, but I have a blue pen.

A : Then, two blue pens, please.

B : Anything else?

A : I want two red pens.

B : Sold out!

A : Thank you.

B : It's two red pens.

B : Here you are.

【語彙】 [stationery] (単数形):pencil, pen, notebook, calendar, eraser, pencil case, ruler, glue stick, magnet, pencil sharpener, marker, stapler

[stationery] (複数形) :pencils, pens, notebooks, calendars, erasers, pencil cases, rulers, glue sticks, magnets, pencil sharpeners, markers, staplers

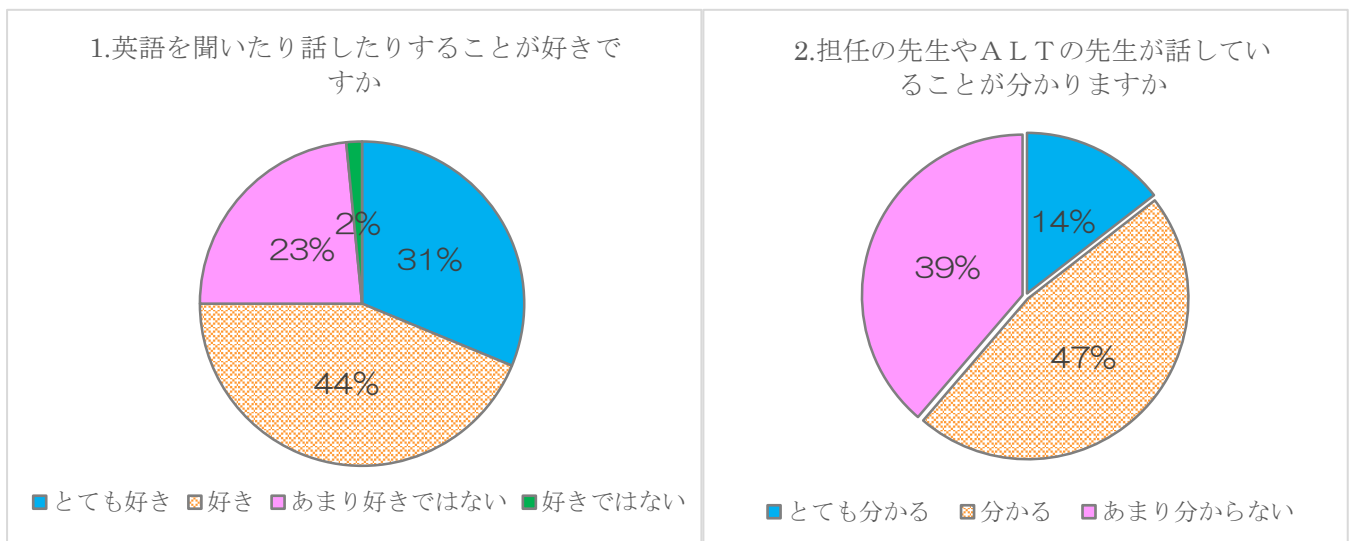
【color】 : red, blue, pink, green, brown, black, white, orange, purple, yellow

6 児童の実態

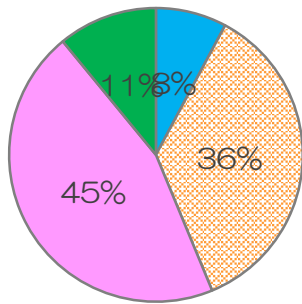
(1) 教師から見た実態

本学級の児童は、昨年度年間35回程度、外国語活動を行った。外国語に対する興味・関心には差がある。英語の歌やチャンツを歌ったりすることは、全体的に楽しんでいる。ただ、音声を聞くことに苦手意識をもっている児童が多い。聞き取れなくなると、集中力が途切れ、諦めてしまう児童がいる。そのため、ゲームを通して友達との交流を楽しみながら学習に取り組めるようにしている。英語への苦手意識をもつ児童には、基本的な英語表現に繰り返し慣れ親しませ自信をもって話せるようになることが大切だと考えている。そのため、意図的に言葉を交わせる機会を設定するだけでなく、思ったことが言えると楽しいと思える活動を取り入れることが大切だと考えている。

(2) 児童の実態調査結果及び考察

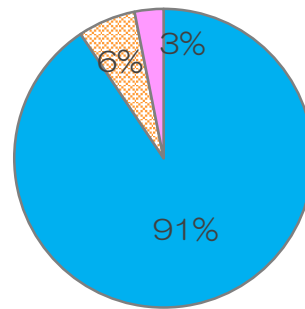


3.授業中、自分から先生や友達に英語を使って話しかけることができますか



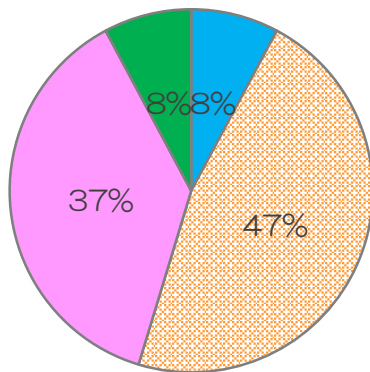
■とてもできる ■できる ■あまりできない ■できない

4.英語が話せるようになりたいですか



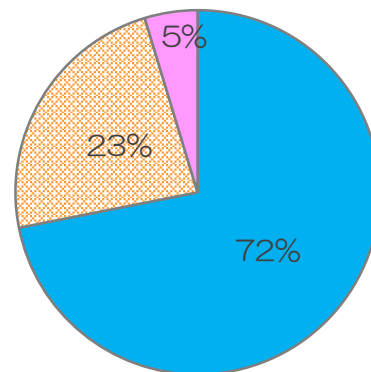
■なりたい ■あまりなりたくない ■なりたくない

5.授業中友達と英語を使って話すことができますか



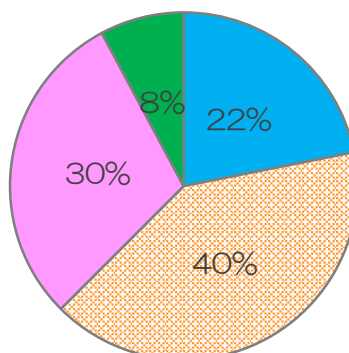
■よくできる ■できる ■あまりできない ■全くできない

6.授業ではできるだけ英語を使うようになっていますか



■使うようになっている ■あまりしていない ■全くしていない

7.身振り手振りを使って友達や先生に一生懸命伝えようとしていますか



■とてもしている ■している ■あまりしていない ■全くしていない

この結果と日々の児童の姿を重ね合わせ、次のように考察した。

英語を『聞いたり・話したりすること』が「好き・まあまあ好き」と答えた児童は75%だった。『担任やALTが英語で話していることが分かる』という問いに対して、「あまり分からない・まったく分からない」は

39%だった。約 40%の児童が英語を十分に聞き取ることができていないことが分かる。『授業中、友達や先生と英語を使って話すことができる』という問いに対して「あまりできない」「全くできない」と答えた児童は、56%だった。英語に対して自信がなかったり、苦手意識をもっていたりする児童がいることが想定される。一方で、ほとんどの児童が『英語を話せるようになりたい』と回答した。また、「授業はできるだけ英語を使うようにしていますか」という問いに対しては、72%の児童が「英語を使うようにしている」という意欲を大切にしながら、「英語が話せるようになりたい」という思いを実現させるために授業の改善・工夫を行っていきたい。

7 研究主題に迫るための指導の工夫

○「児童が主体的に取り組む」ための手立て

(1) 身近な表現や言葉に慣れ親しむ

- ・外国語に慣れ親しむための導入の工夫

「歌」に身振り手振りを付けながら歌っている。ただ歌うだけではなく、身振り手振りで表現することによって、楽しみながら身近な表現や言葉に慣れ親しむことができるようにした。毎時間繰り返すことで、児童の学習に対する緊張感を和らぐことができるようにした。

- ・言葉や表現の掲示の工夫

日常的な会話のやりとりを掲示したり、本単元で使用する単語やセンテンスを掲示したりすることで、児童が安心して活動に取り組めることができるようにした。

(2) 自らコミュニケーションを楽しむ

- ・Small Talk の工夫

英語の音声や表現に慣れ親しめるよう単元で使用する表現を用いて、週 1 回 Small Talk を行った。教師が Small Talk をして、どんな言葉が聞こえてきたのかを全体で共有し、会話を広げた。

- ・相手への応答の仕方を例示

やりとりを通して、応答したり、質問したりすることで、会話を繋げたり広げたりできるよう、応答の仕方を例示し、意識付けた。また、T2としてALTが授業に入る際は、応答することで相手の思いや考えを受け止めている「応答のよさ」を実感できるようにした。

- ・必然性のある場面設定

文房具屋さんとお客さんの会話のやり取りの場面を設定することにより、児童の興味関心を引き、活動の意欲へと繋げていった。

8 指導計画と評価計画（全4時間）

時	○目標 ・学習活動	◎支援 ★評価【観点】(方法)
1	○文房具などの学校で使う物を英語でどのように言うのかを知る。 ・Small talk を行う。 ・文房具の単語を確認する。 ・pointing game を行い、文房具の単語を覚える。 ・チャンツ「Do you have a pen?」を歌う。 ・映像を見て、文房具がいくつあるのかを聞き取り、答える。 ・文房具の card game を行い、文房具の単語を聞き取る。	◎単語の練習を通して、日本語と英語の違いに触れる。 ◎pointing game を行うときには、文房具がそれぞれいくつあるのかを確認する。 ★文房具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむことができる。【知・技】(振り返りカード)

2	<p>○持ち物をたずねたり答えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツ「Do you have a pen?」を歌う。 ・missing game や keyword game を通して、文房具の単語の復習をする。 ・モデル会話をする。 <p>Do you have ~? Yes, I do. /No, I don't.</p> <p>How many~?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで文房具について尋ねたり答えたりする。 ・児童がクラスを歩き回り、やりとりを行う。 	<p>◎単語を発音するだけではなく、ゲームを通して楽しみながら、文房具の単語の確認をする。</p> <p>◎全体での活動を行う前にペアで練習し、自信をもって活動に参加できるようにする。</p> <p>★持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。</p> <p>【思・判・表】(行動観察・振り返りカード)</p>
3	<p>○文房具について伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツ「Do you have a pen?」を歌う。 ・先生の筆箱の中身を紹介する。I have~. ・音声を聞いて、登場人物の筆箱の中身を聞き取る。 ・文房具の card game を行う。 	<p>◎先生の筆箱の中身を紹介することで、学習への興味・関心をもたせる。</p> <p>◎世界の子供たちの鞆の中身と児童の鞆の中身を比べ、違いに気付かせる。</p> <p>★文房具などの学校で使う物について伝え合おうとしている。</p> <p>【学びに向かう力】(行動観察・振り返りカード)</p>
4 (本時)	<p>○文房具屋で買い物をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Small talk を行う。 ・モデル会話をする。 ・チャンツを歌う。 ・児童がクラスを歩き回り、やりとりを行う。 ・文房具の店員とお客の役になりきって、活動する。 	<p>◎全体の活動を行う前に、モデル会話を見た後、ペアでやりとりの確認をし、自信をもって活動に参加できるようにする。</p> <p>◎買い物リストを用いて買い物をし、たくさんの店員と会話をするように促す。</p> <p>★文房具など学校で使う物について尋ねたり答えたりして伝えることができる。</p> <p>【思・判・表】(ワークシート・振り返りカード)</p>

9 本時の展開 (4 / 4)

- (1) 文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。
- (2) 展開

過程	学習活動	◇T1 の活動 ◆T2 の活動	◎指導上の留意点★評価基準	準備物
導入 10分	1、Greeting ♪Good morning song 2、Warm up ♪Action song	◇◆挨拶をし、児童と一緒に歌う。	◎英語の歌に合わせて体を動かすことで、明るく楽しい雰囲気作りをする。	PC

展 開	<p>3、Small Talk をする。 児童が先生に聞きたいことを質問する。</p> <p>4、本時の学習内容を確認する。</p>	<p>◆◆児童の質問に答え、その話題をもとに会話する。 ◆めあてを掲示する。</p>	<p>◎質問した児童との会話だけにならないように、クラス全体に話を広げる。</p>	
Today's goal 文房具についてたずねたり答えたりしよう。				
6 分	<p>5、Review 文房具屋でお買いものをする場面を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル会話を見る。 ・チャンツを歌う。 	<p>◆◆モデル会話をする。</p>	<p>◎全体の活動を行う前に、モデル会話を見た後、やりとりの確認をし、自信をもって活動に参加できるようにする。</p>	<p>買い物リスト 絵カード</p>
10 分	<p>6、Activity (前半)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で活動する。 ・お店屋さんが準備をしている間は、お客さんはやり取りの練習をする。 	<p>◆ICT 機器や掲示物を活用して、会話の流れを確認する。</p>	<p>◎掲示物を見せずに活動を始め、自分の力で伝えようとする意識をもたせる。 そして、分からないときには、先生に聞くよう指導する。</p>	<p>PC</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>やりとり例</p> <p>A: Excuse me. B: Yes? A: Do you have a red pen? B: Yes, I do. A: Oh, nice! A: I want two red pens. B: It's two red pens. B: Here you are. A: Thank you.</p> </div>	<p>◆◆机間指導を行う。</p>	<p>◎買い物リストを用いて買い物をし、たくさんの店員と話をするように促す。</p> <p>★文房具について、尋ねたり答えたりしている。【思・判・表】 (行動観察・学習シート・振り返りカード)</p>	

10分	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>A: Excuse me. B: Yes? A: Do you have a red pen? B: No, I don't. B: Sorry, but I have a blue pen. A: Oh, nice! A: Then, two blue pens, please. B: It's two blue pens. B: Here you are. A: Thank you.</p> </div> <p>お店役とお客役を交換して再び活動する。</p>			
終末9分	<p>7、♪ Pens and pencils</p> <p>8、振り返りカードを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をする。 ・感想を書く。 <p>9、Goodbye song</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の歌に合わせて体を動かす。 	<p>◇発表者を指名する。</p> <p>◇◆児童と英語で挨拶する。</p>	<p>◎お店で買った文房具を歌の中で紹介する。</p> <p>◎学習を振り返り、学習の成果についての児童の気付きを促すようにする。</p>	<p>振り返りカード</p>

(3) 本時の視点

- ・買い物リストをもとに文房具屋でお買いものをする活動は、児童の主体的な活動を促す上で有効であったか。

Unit5 Do you have a pen?

12/10 **Today's goal** 文房具についてたずねたり答えたりしよう。

Greeting

Warm up

Reaction

Stationary cards. Color cards.

Today's point

A: Excuse me.

B: Yes?

A: Do you have a red pen?

B: Yes, I do.

A: Oh, nice!

A: I want two red pens.

A: It's two red pens.

B: Here you are.

A: Thank you.

A: Excuse me.

B: Yes?

A: Do you have a red pen?

B: No, I don't.

B: Sorry, but I have a blue pen.

A: Oh, nice!

A: Then, two blue pens, please.

B: It's two blue pens.

B: Here you are.

A: Thank you.